

# 学びて時に之を習ふ 『論語』

子曰、<sup>ハク</sup>『温故<sup>メテキヲ</sup>而知新<sup>レバ</sup>、可以<sup>シキヲベシトテ</sup>為師<sup>ル</sup>矣。』  
置き字

子曰く、故（ふる）きを温めて新しきを知れば、以（も）って師為るべし。

現代語訳

四字熟語の **温故知新**

孔子先生はいいました。「古くからの教えを大切に、新しい意義や知識を発見することができれば、人を教える師となる資格があるでしょう。」と。

子曰、<sup>ハク</sup>『学<sup>ビテ</sup>而不思<sup>ゼレバ</sup>則<sup>ハ</sup>罔<sup>チシ</sup>。思<sup>ヒテ</sup>而不学<sup>レバ</sup>則<sup>バ</sup>殆<sup>チシト</sup>。』  
置き字 置き字

子曰はく、「学びて思はざれば則（すなわ）ち罔（くら）し。

危険である

思ひて学ばざれば則ち殆（あやう）し」と

現代語訳

孔子先生はいいました。「学ぶだけで考えなければ本当の理解はできない。自分の考えだけで広く先人の知識や意見に学ばないと独断におちいって危険である。」と。

子曰、<sup>ハク</sup>『知<sup>ル</sup>之者<sup>ヲ</sup>不如<sup>カム</sup>好之者<sup>ヲ</sup>、好<sup>ム</sup>之者<sup>ハ</sup>不如<sup>ハト</sup>楽之者<sup>ニ</sup>。』  
置き字 置き字 置き字

子曰く、「之（これ）を知る者は之を好む者に如かず。

かなわない・及ばない

之を好む者は之を楽しむ者に如かず。」と。

現代語訳

孔子先生はいいました。「学びにおいて、その知識を知っているということは、学びを好きな人間にはかなわない。そして学びが好きな人は、学びを楽しんでいる人には、かなわない。」と